



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.105 2009.12.23

発行

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に

090-2156-3510

2010年を平和の願いかなう年に

日本共産党北区議員団が被爆都市・広島を視察

日本共産党北区議員団は12月16日から18日まで、広島県を視察しました。17日に福山市を訪れ、広島県立歴史博物館や鞆の浦を視察、その後、広島市に入りました。

被爆体験を風化させない

この日、広島県被爆者団体協議会の方々からお話をうかがいました。これまでに原爆症認定の集団訴訟では、21回連続の原告側勝訴をかちとり、先の臨時国会では、全面解決にむけた第一歩となる原爆症基金法が成立しました。被爆者と支援者のねばり強いたたかいが、国を突き動かしています。

一方で、被爆者の高齢化により、被爆体験をどう次の世代に継承してゆくかが大きな問題になっています。被爆者団体でも、被爆2世の組織化や、高校生など若

い世代を対象にした碑めぐりの運動にとりくんでいるとのことでした。

私は、北区でも16年前から若者が中心となって被爆体験を語り継ぐ運動をすすめてきたことを紹介、「貴重な体験を風化させず、核兵器廃絶への力にしましょう」と交流を深めました。

核兵器廃絶へ新たな決意を

18日には、原爆ドームと平和祈念資料館を視察。あらためて原爆被害の大きさ、恐ろしさを認識させられるとともに、「核兵器のない世界を」の国際世論が広がるもと、来年のNPT再検討会議にむけて核廃絶の明確な一歩が踏み出せるよう力をつくさねば、との決意を新たにしました。

2010年を平和の願いかなう年にしましょう。
(区議・のの山けん)



左から、木元良八、さがらとしこ、八百川孝、やまき直人、山崎たい子、のの山けん、本田正則、福島宏紀、中川大一の各区議 118日、広島・原爆ドーム前

暮らし、雇用、福祉を最優先する政治に

志茂・赤羽後援会が「都区政報告会」―そね前都議、のの山区議が情勢報告



報告する、そね前都議（正面左）と、のの山区議（同右）

12月12日、赤羽会館で、日本共産党志茂・赤羽後援会主催の「都区政報告会」が開かれ、25人が参加しました。最初に、そねはじめ前都議が都政問題について報告。都議選前には都立小児病院廃止計画に反対していた都議会民主党が、選挙後には賛成に豹変するなど、都民の願いを裏切る態度をしめしていることを批判、医療切り捨ての計画

をやめさせるため、ともに声をあげようとよびかけました。続いて、のの山けん区議がスライドを使いながら区政問題について報告しました。のの山区議は、日本共産党北区議員団が来年度予算編成にむけて、区民のみなさんと懇談を重ねながら351項目におよぶ予算要望書を区長に提出したことを紹介。「区民要求の実現に全力をあげます」と決意をのべました。

また、生活保護受給者を対象にした「貧困ビジネス」―無料低額宿泊所問題や、北区から駐輪場管理業務の委託を受けた業者による賃金未払い問題をとりあげ、日本共産党の追及で、一定の改善を勝ちとっていることを報告しました。

区役所庁舎問題では、区が区民との合意もないまま、数百億円もかかる移転・建替えをすすめるようとしていることを明らかにし「区は説明責任を果たすべき」と訴えました。

今年も一年、たいへんお世話になりました。

新年もどうぞよろしくお願いたします。



のの山けん



若者の力で平和のといくみを

12月20日、滝野川会館で、VOICE（被爆体験を語り継ぎ、核兵器の使用を許さない北区青年の会）主催の平和企画が開かれ、青年ら20人が参加しました。

VOICEが編集した被爆証言DVDを鑑賞したあと、日本共産党の八百川孝区議が情勢報告。核兵器廃絶や日米軍事同盟をめぐって活発な質疑が交わされました。